

4月

1年 AGOむすび～過去と今、そして未来をむすぶ13人の英雄～

私たちが住んでいる安居地区の魅力を発見したい。そのために、安居地区の自然・文化・歴史・人と結びつき、安居地区の外とも結びつく活動に取り組む。そして、今を生きる自分たちが安居地区の魅力・伝統を受け継ぎ、守り、伝え、そして未来の後輩へと橋渡しができるような存在を目指す。この目標を達成するために、13人が、一人一人の力を結集し、絆を深め、様々なプロジェクトを推し進めていく。

地域の方との交流会(安居の里を守る会・安居公民館)
安居地区を守り支える活動を行っている地域の方々、「安居地区の自然」をテーマに意見交流会を実施した。「ホタル」「ミズアオイ」「ピオトープ」等の保全に関する取組や歴史について話を聞いたり質疑応答を行った。その中で、「安居地区の自然を守りたい」という地域の方の思いを受け止め、今後は安居地区の自然をテーマにしたプロジェクト学習への意欲を高めることができた。

校外学習 in 大野市～自然・歴史とまちづくり～ & レクリエーション
大野市街でまちづくりの工夫に関する調査や地域の方へのインタビューをした。本調査と前回の交流会から、地域の方は「魅力を伝えて残したい」と思っているのではないかと考えた。レクリエーションでは「絆をレベルアップしよう」という目標で「人文字作り」「看板作り」等を企画し、楽しみながら運営することができた。「世界中の人に安居中学校について興味をもってもらいたい」「安居地区を盛り上げる一助にしたい」という思いで、「大声校歌」を安居中学校HPに載せる企画を実施した。

ACS (Ago Community Session)
3年生のプロジェクト学習の見通しについて、異学年グループで話し合った。3年生は、計画や取組に向けた思いを自分の言葉で語り、地域の方々や他学年からの意見やアイデアを聞くことで、自分たちの取組をよりよくする機会とすることができた。1,2年生はこれまでの自分たちの取組を自分の言葉で語った。地域の方々や上級生からのアドバイスをもとに今後の活動を展開していく。

安居地区の自然の魅力を「知る」「体験する」「考える」
交流会、校外学習、ACSを通して、プロジェクト学習を進めるためには、安居地区の自然の魅力を「知る」ことが必要だと考え、安居公民館や安居の里を守る会の環境保全活動に参加し、「体験」を積み重ねることになった。その中で、地域と関わりをもちながら、プロジェクトを進めていくことの重要性を実感した。

- 6/8 ホタル観察会
ホタルが生息しやすい環境維持の大切さに気づき、来年度の中学生主催の観察会に向けて意欲を高めた。
8/24 未更毛川水質調査
公民館主催の調査に参加し、水生生物の多様性や水のきれいに感動した。
7/12 ミズアオイ入植
公民館壮年部が育てた苗を末町の水田とピオトープに入植し、絶滅危惧種を保全する活動を行った。
9/8 種刈り
公民館壮年部が管理するミズアオイ保全のための水田で育てた古代米を収穫した。
8/20ピオトープ草刈り
安居の里を守る会と協力し、雑草除去や小川清掃を行い、生物が住みやすい環境作りを学んだ。

学校祭
本年度の学校祭テーマは「虹～パレットで色を混ぜてキャンパスに描こう～」である。生徒数の変動による部門会の再編を生徒会執行部が中心となって行うなど、企画から運営まで生徒主体で取り組んだ。また、3年生が体育と数学の合科の授業で取り組んだ「リレー」での学びを全校リレーに生かし、走者に応じたパトパスの助走距離を計算するなど、学びの効果を全校に広げた。

学年プロジェクト学習テーマの決定
これまでの取組やACSの内容を踏まえて、「テーマ班」「活動看板制作班」「活動計画班」に分かれて学習の成果や振り返りを行い、全体で各班の意見や思いを共有した上でテーマを決定した。

My Learning に向けて
学習や行事、学校生活等での「気づき」を記してきた「Myノート」をもとに、「学び」について考察した。「以前」「きっかけ」「今」という視点で振り返り、自分の成長を実感できた。

公開研究会 (My Learning①)
公開研究会では、県内外の教育関係者やエジプトからの視察団の方たちと授業研究を行った。My Learningでは、全生徒が安居中学校での学びをポスターにまとめ、異学年グループで自分の学びを語った。生徒間で学びの化学反応が起こることを狙って、発表後に交流の時間を設けた。他学年からの意見を聞くことで、思考の深まりを感じる事ができた。

ACS
3年生による3年間のプロジェクト学習の成果発表会を中心に、各学年が学年プロジェクトのテーマを発表した。その後、今後の各学年のプロジェクト学習の進め方について、上級生が下級生にアドバイスを行うなどの異学年交流を行った。

小6インターンシップ
「小6が安心して居心地良く感じるような最高のおもてなしで安居中学校の魅力を伝える」という目標を立て、「学校紹介班」「合唱班」「学校案内班」に分かれて企画・運営を行った。「自分の役割に責任をもつこと」「主体的に活動すること」「相手の立場に立って行動すること」を常に意識して活動を進めることができた。活動後は、準備～本番について、実際の活動とそこの気づきを振り返った。これからの物事を企画するときの「考える道筋」を図で表した。

My Learning②
My Learning②は、1年生は中学校1年間での学びの成果、2年生は立志式の個人の志、また3年生は3年間の総まとめである卒業論文をもとに、学校でのあらゆる学びについて振り返った。

来年度に向けて
1年間の取組を整理し、自分たちの学びを後輩に「むすぶ」。

2年 幸せへの方程式～SHARE THE HAPPINESS～

私たちは毎日学校に通って一体何のために、何を勉強しているのか。それはきっと、私たちが将来の自分自身を幸せにするための方法を学ぶためである。「責任ある自由の追求」を学級のコンセプトとして、これまでの経験を駆使してクラス全員が協力し、様々な活動を自分たちの手で創り上げる。この「自由」な活動の中で一人一人が自分を感じる「幸せ」について探究する。そしてその幸せになる方法を実践し、他者と共有、発信し、幸せの輪を安居中学校、安居地区全体に広げていくことで、安居を幸せにする。

校外学習 自然体験学習(クログ農園、ハツ杉千年の森 森林学習センター)

すべて自分たちで企画・運営を行うということを目指し、食材を自分たちで調達しての野外調理に挑戦した。2名の実行委員長と他7名の実行委員を立てて、訪問先との連絡調整から予算管理、食材の購入、タイムスケジュールや式典運営、バス内のレクリエーションまで、自らの手で行った。当日はクログ農園にてレタスの収穫体験や、薪割り体験をした後、ハツ杉森林学習センターで、火起こし体験と野外調理に臨んだ。時間配分のミスから調理の時間が足りなくなってしまったり、式典の挨拶を飛ばされてしまう生徒がでてしまったりと数多くの失敗をした。最も大きな学びは「必ず何度もリハーサルを行うこと」と「実施前の最終確認を行うこと」の大切さである。すべて自分たちで企画することの責任とその達成感の大きさを実感できた行事となった。

学力向上プロジェクト
学年内で課題意識の高かった「学力の向上」を達成するために、「学力向上プロジェクト」を立ち上げ、以下のグループに分かれて活動を行った。

- 授業力向上G
学力向上のためには授業に主体的に参加する姿勢が必要だと考えた。自信をもって自分の考えを発表する力を伸ばすために、帰りの会でのスピーチの企画・運営を行った。
自主学習向上G
学力向上のためには自主学習の質を高める必要があると考えた。自分たちの自主学習のやり方をまとめ、理想的な自主学習のやり方を調査し、レポートを作成し、配付した。
テスト計画表G
テストで点数をアップさせるためには、テストに向けて効率的に勉強する必要があると考えた。アンケートをとり、みんなにとって使いやすい計画表を作成した。
進路グループ
自ら主体的に学習できるようにするためには具体的な進路を意識して学習を進める必要があると考えた。授業に遅れないためのルールを具体的に定め、学習の環境を整えた。
時間グループ
主体的に学ぶ集団として、遅刻せずに時間いっぱい授業を受けることが大切であると考えた。授業に遅れないためのルールを具体的に定め、学習の環境を整えた。

職場体験
生徒の興味・関心が高い職種から訪問先を決定し、保育、福祉、広告出版、工業、食品、サービス等、全部で13の事業所に赴き職場体験学習を行った。事前学習では、「なぜ働く必要があるのか」というテーマのもと、社会に出て働くことの意義について考えを深めた。活動目標は全員で意見を出し合って「仕事の生きがいを見つけ、自分に活かせることを学ぼう」に決定した。事後学習では、各事業所での学びを少人数グループに分かれてプレゼンテーションをし合って共有した。学級全体として、「感謝はやる気の原動力になること」「楽しむためのポジティブ思考」「協力するためのコミュニケーション能力」の重要性に気づくことができた。次の学年プロジェクトで、これらの学びを実践に移すことを決意した。

立志式プロジェクト
橋本左内先生の生涯について学習し、志を立てることの意義を学んだ。立志式では学年の志として、「責任ある自由」を追求することと、それを支える3つの力「経験」「協力」「創造」について誓いを立てた。この誓いには、「自分たちの未来を決める活動で、自分たちは企画し、責任をもって実行する力をつけたい」という意味が込められている。歌詞を自分たちの想いに合うようにオリジナルで書き換えた合唱曲「正解」を披露し、強い決意を表現することができた。

My Learning②
My Learning②は、1年生は中学校1年間での学びの成果、2年生は立志式の個人の志、また3年生は3年間の総まとめである卒業論文をもとに、学校でのあらゆる学びについて振り返った。

来年度に向けて
わたしたち一人一人が幸せになる方法を探究し、他者と共有、発信する。

3年 AGONGERS～安居を元気にするヒーローたち～

一人一人が特徴を持ったヒーロー集団のAVENGERSのように、私たちが「一人一人の個性とアイデアが詰まった集団になる」という思いを込め、安居(AGO)にちなんで、「AGONGERS」というテーマを設定した。1人でヒーロー、全員でAGONGERSとしての自覚と、「安居を元気にする」という目的を胸に、それぞれのアイデアを生かし、「楽しさいっぱい・元気いっぱいの安居」を目指していく。

安居っ子行灯プロジェクト
今春行った「桜ライトアッププロジェクト」の成果と課題を踏まえ、より多くの地域の人たちと関わる「安居っ子行灯プロジェクト」を企画した。行灯を協力して制作し、轟まつりとオシッサマのお渡りで設置することで、地域を元気にしたいと考えた。

修学旅行
同じ教科センター方式を採用している、上板橋第二中学校との交流を通して、安居中学校の強みを再認識した。また、様々な施設での活動を通して、来客者に楽しんでもらうためには「見る」以上に「体験してもらう」必要があると感じ、今後の学年プロジェクトのヒントを得ることができた。

安居っ子行灯プロジェクト
安居のキャラクター「アゴジン」の塗り絵を西安居保育園と安居小学校の子どもたちに協力してもらい、行灯を制作した。地域を元気にしたいと始めた活動だが、自分たちも元気をもらっていることに気づいた。

轟まつり【行灯の設置とボランティア】
制作した行灯を轟まつりで設置するとともに、オシッサマのお渡りでの新たな行灯設置に向けて、地域の方に行灯に貼る絵や文字をかいていただいた。また、屋台の運営を手伝ったり、踊りの輪の中心になったりして、祭を盛り上げた。

安居っ子行灯プロジェクト
轟まつりで描いてもらった絵を用いて、新たに行灯を作った。自治会長さんの協力を得て、プロジェクトの説明用看板も制作した。

オシッサマのお渡り【行灯の設置】
これまでに制作した、合計22個の行灯を高雄神社に設置した。地域の方から、「きれいだった」「来年も続けてほしい」という言葉をいただき、自分たちの個性を生かした3年間の学年プロジェクトが実を結んだことを実感した。

合唱制作プロジェクト
1年生から積み重ねてきた「合唱」の集大成として、音楽科と協働して合唱曲の作詞・作曲を行い、卒業式で披露することにした。

公開研究会 (My Learning①)
公開研究会では、県内外の教育関係者やエジプトからの視察団の方たちと授業研究を行った。My Learningでは、全生徒が安居中学校での学びをポスターにまとめ、異学年グループで自分の学びを語った。生徒間で学びの化学反応が起こることを狙って、発表後に交流の時間を設けた。他学年からの意見を聞くことで、思考の深まりを感じる事ができた。

“AGONGERS”まとめ
3年間の学年プロジェクトを振り返り、ACSで発表した。「初めて取り組む活動にあたっては、100%の計画は立てられないことから、大まかな見通しを立てたら行動に移し、計画を修正しながら進めることが大事」「地域貢献活動においては、win-winの関係で進める必要がある」といった学びが得られた。これまで地域と協働しながら進めてきた2つのライトアッププロジェクトをまとめたCMは、ふるさと福井CMコンテストで最優秀賞をとることができ、大きな達成感を得ることができた。

合唱制作プロジェクト
「学年」の歩みを振り返り、学年目標「伸華」をモチーフにした合唱曲を完成させた。

My Learning②
My Learning②は、1年生は中学校1年間での学びの成果、2年生は立志式の個人の志、また3年生は3年間の総まとめである卒業論文をもとに、学校でのあらゆる学びについて振り返った。

未来に向けて
自分たちの個性を生かしながら、地域社会に貢献するヒーローであり続ける。

Summer Project
3年生のリーダーシップのもと、異学年協働による、学校祭に向けたプロジェクト

Autumn Project
各学年でテーマを設定し、地域と繋がり、地域に貢献するプロジェクト

Winter Project
1年間の振り返りと、次年度の構想を立てるプロジェクト

3月

地域

外部

外部

地域

地域

地域

地域

地域

地域

地域

外部

